

# 浜田市有機農業実施計画

## 1 市区町村

---

浜田市

## 2 計画対象期間

---

令和5年度から令和9年度

## 3 策定の趣旨

---

浜田市有機農業実施計画（以下、「実施計画」という。）は、浜田市において有機農産物の産地化を推進し、目標を達成するための生産、加工、流通及び消費の取組、実施体制等についてまとめたものである。

実施計画の実行においては、生産だけでなく、加工流通、消費など多岐にわたることから、生産者の取組だけでは解決しえない課題が想定される。とりわけ、消費に関しては、消費者の志向や行動が大きく影響するため、消費者との関わりが重要となる。単に有機農産物の販売促進を行うだけでなく、有機農業についての理解やSDGsなど持続可能性についての意識を高め、積極的に有機農産物を選択してもらえる動機づけが必要となる。

そのため、浜田市が目指すオーガニックビレッジ構想（別冊）をまとめ、市民等に対し広く周知を図るものとする。

## 4 浜田市における有機農業の現状と課題、目標

---

### (1) 有機農業の現状と課題

浜田市は、島根県西部の日本海を望む位置にあり、大部分が丘陵地や山地であるため、まとまった平地は少ないが、豊かな自然を有し、農業、農村が有する多面的機能を発揮する中山間地域で、国土および環境の保全や水源の涵養等に大きな役割を果たしている。

浜田市においては、従前より、施設での軟弱野菜の有機栽培を主体とした企業の経営を展開する農業者による産地形成の取組や、弥栄地区を中心とした水稻、大豆、露地野菜等の有機栽培に見られる自給的有機農業を主体とした農業者の取組等、県内でも特色ある有機農業が営まれている。

また、浜田市の有機 JAS 認証の取得ほ場面積は、令和 4 年 4 月現在で約 48ha で、認証事業者数は 14 経営体と県内トップにある。浜田市においては、令和 2 年度に有機野菜を市の振興作物に位置づけるとともに、施設整備等への補助などを行い、有機農業の生産拡大に向けた支援を行ってきた。しかしながら、近年の農業資材費や輸送費の高騰が規模拡大を進めるうえでの大きな障害となっている。

一方で、国内の有機農産物の消費については、年々拡大傾向にある。農林水産省によると、国内の有機食品市場規模の推計値は、2009 年の 1,300 億円から 2017 年は 1,850 億円と拡大しており、今後も拡大することが予想されている。

中山間地域等の条件不利地域で農業を継続し、地域の環境を守っていくためには、農業経営を成り立たせるとともに、農業を営める環境を持続させることが重要である。そのため、先駆的な有機生産者や企業等との連携により諸課題の解決を図り、有機農業の産地化を進める。

## (2) 浜田市オーガニックビレッジ構想

浜田市が有機農業を推進するうえで、根幹となる浜田市が目指すオーガニックビレッジの定義及び実現に向けたポイントについて、以下のとおり定める。

### 浜田市が目指すオーガニックビレッジ（定義）

いかしあうつながり（有機的な関係性）によって  
浜田市の大地と海、風土をはぐくみ続けるまち

### 実現に向けた3つのポイント



## (3) 5年後に目指す目標

項目	現状 (R3)	目標 (R9)
有機米栽培面積	6ha	13ha
有機米の販売数量	18,000kg	39,000kg
有機米に取り組む農業者	2人	7人
有機 JAS ほ場面積の拡大	(R4) 48ha	65ha
有機 JAS 認証取得者の増加	(R4) 14人	20人

## 5 取組内容

---

### (1) 生産における取組

#### ア 有機米の生産拡大に向けた取組

有機米の産地化を目指し、安定した生産体制の確立に向けた支援を行う。特に、有機米の栽培において最も課題となる除草対策については、自動抑草ロボット（アイガモロボ）や除草機等の活用、また、トロトロ層の形成等を民間企業や島根県と連携して栽培マニュアル等を作成し普及を図る。

また、慣行栽培から有機農業への転換を促すため、先進的な取組を行う有機米生産者や販売事業者を招聘し研修会等を実施する。

#### イ 有機露地野菜の生産拡大に向けた取組

近年の資材費高騰の影響により、ビニールハウスの建設が難しい状況であることから、露地栽培の併用による生産拡大に向けた支援を行う。

栽培技術については、民間企業や島根県と連携して効率的な栽培体系を確立するほか、栽培品目の検討についても民間企業等と連携しマーケットインによる戦略的生産体制の確立を目指す。

### (2) 流通、加工、消費等における取組

#### ア 販路拡大に向けた取組

生産者グループと連携し、有機農産物の新たな販路開拓に向けた取組を行う。また、食の外部化を背景に加工・業務用野菜の需要が高まっていることから、民間企業等との連携によりフードバリューチェーンを構築し、マーケットのニーズに適合した戦略的生産体制づくりを進める。

## イ 有機給食の実施

市内で生産された有機米や有機野菜を、市内小中学校の給食で提供し、有機農業の取組への理解を深めるとともに、環境保全に対する意識を醸成する。

## ウ 地産地消の拡大

市内における、有機農産物の消費拡大を目指し、地元スーパーでのPR活動や、オーガニックをテーマとしたマルシェの開催など行う。また、浜田市が進める「BUY 浜田運動」と連携し地産地消の拡大を図る。

### (3) オーガニックビレッジに向けた取組

#### ア 地域循環型堆肥の作成

野菜の残渣や廃棄魚などを地域資源として捉え、これらを活用した有機質堆肥を作成し、市内の生産者に活用してもらうことで地域内でのエネルギー循環を作り、生産コストの抑制につなげる。また、本取組が地産地消と地域環境保全につながることを消費者にPRし、地域内消費の拡大につなげる。

#### イ 籾殻くん炭を活用した取組

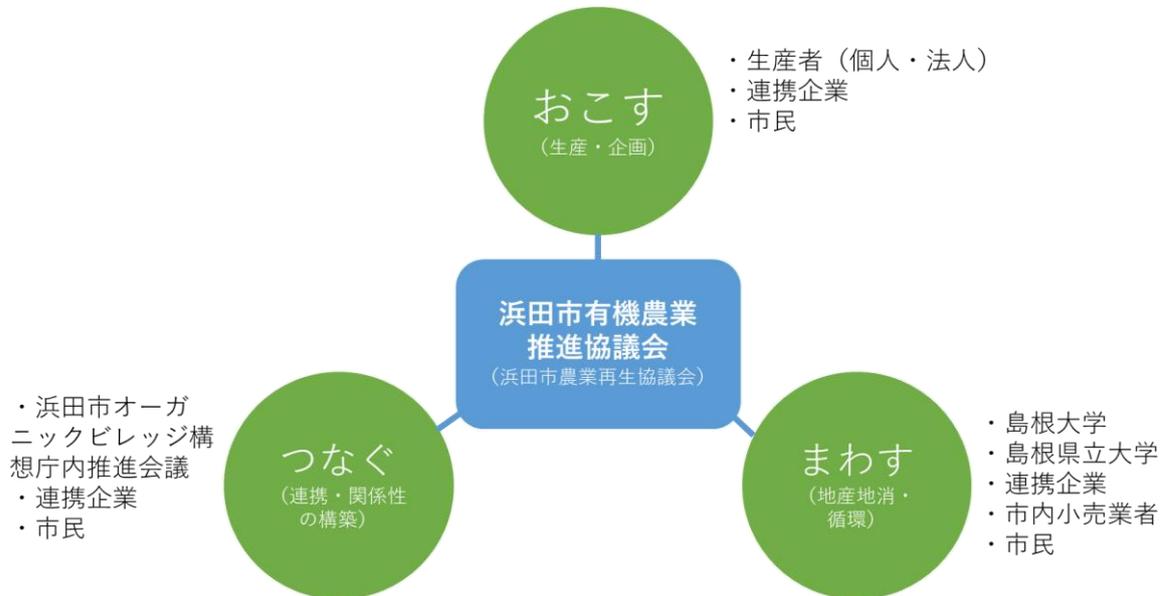
市内で製造した籾殻くん炭を有機栽培のほ場のほか慣行栽培のほ場にも導入することにより、温室効果ガスの削減につなげる。また、J-クレジット制度を活用し生産者の収益性向上にもつなげるモデルを構築する。

#### ウ オーガニックビレッジの啓発

オーガニックビレッジの実現に向けて農業分野と他分野が連携した取組を支援するとともに、環境意識などの醸成を目的としたイベント等を開催する。

## 6 取組の推進体制

### (1) 実施体制



### (2) 関係者の役割

- ・浜田市有機農業推進協議会（浜田市農業再生協議会）：  
有機農業実施計画の実行に必要な事務、支援
- ・浜田市オーガニックビレッジ構想庁内推進会議：  
取組にあたっての浜田市役所関係部署との連携・調整
- ・生産者（個人・法人）：実証ほ事業、販路拡大事業等への協力、
- ・連携企業：販路の提供、新技術の導入、生産指導等
- ・島根大学：有機質堆肥の作成、検証
- ・島根県立大学：糞殻くん炭の作成、検証
- ・市内小売業者：消費拡大への協力

【年度計画】

R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業推進協議会の開催（300 千円）</li> <li>・有機米抑草・除草対策実証（536 千円）</li> <li>・販路拡大・物流改善の取組（1,668 千円）</li> <li>・有機給食の実施（708 千円）</li> <li>・地域循環型堆肥の作成、検証（2,000 千円）</li> <li>・籾殻くん炭の地域循環モデルの策定（1,069 千円）</li> <li>・オーガニックビレッジイベントの開催（1,357 千円）</li> <li>・加工品開発・販売促進（362 千円）</li> </ul>	8,000 千円
R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業推進協議会の開催（300 千円）</li> <li>・生産拡大に向けた取組（1,000 千円）</li> <li>・販路拡大・物流改善に向けた取組（1,000 千円）</li> <li>・有機給食の実施（1,700 千円）</li> <li>・地域循環型堆肥の利用拡大（2,000 千円）</li> <li>・籾殻くん炭の活用及びJクレジットの導入（1,000 千円）</li> <li>・オーガニックビレッジイベントの開催（1,000 千円）</li> </ul>	8,000 千円
R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業推進協議会の開催</li> <li>・生産拡大に向けた取組</li> <li>・販路拡大・物流改善に向けた取組</li> <li>・有機給食の実施</li> </ul>	国、県、本市の関連事業等を活用して有機農業の推進を図る。
R8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業推進協議会の開催</li> <li>・生産拡大に向けた取組</li> <li>・販路拡大・物流改善に向けた取組</li> <li>・有機給食の実施</li> </ul>	国、県、本市の関連事業等を活用して有機農業の推進を図る。
R9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業推進協議会の開催</li> <li>・生産拡大に向けた取組</li> <li>・販路拡大・物流改善に向けた取組</li> <li>・有機給食の実施</li> </ul>	国、県、本市の関連事業等を活用して有機農業の推進を図る。